

令和5年11月30日(木)

木更津総合高等学校関係者各位

学校法人 君津学園 木更津総合高等学校
第19代生徒会 会長 鈴木 明輝

第19代生徒会本部任期満了に際して御挨拶

第19代生徒会会長の鈴木 明輝です。この度、第19代生徒会本部は任期満了となりました。これまで数々の御協力を下さいました皆様に感謝申し上げます。

思い返せば、丁度1年前、私は第19代生徒会会長に就任致しました。あれから1年、時の流れは走馬燈のように非常に早く感じる思いであります。さて、今代の生徒会は新しいことに挑戦した代と言えらると思います。「真心祭文化の部における、初の生徒会企画ステージ発表」、「インターアクト部様・清和大学様との合同キャップ回収」「全校集会における生徒会長挨拶の内容改革」、「生徒会本部役員選挙制度改正」等が挙げられます。この木更津総合高等学校を更に盛り上げる為、我々は日々生徒会活動に励みました。中でも全校の皆様が記憶にあるのは「生徒会会長挨拶」ではないでしょうか。私は皆様が少しでも興味を持って頂き、ご家族やご友人とお話しする機会を増やしたいと考えたため、身近な話題を取り上げていきました。全校生徒の皆様が楽しいと思えてくれたのなら、幸せです。以前にもお伝えしましたが、全校の皆様にお伝えしたいのはただ一つ。「努力を惜しまない事」です。何か目標があるのなら、諦めてはならない。決して努力を惜しんではならない。私が2年間、生徒会副会長・生徒会会長と生徒会本部で働いてきた身として本当に痛感致しました。全校の皆様にはどうか努力を惜しまず、夢に向かって確実に一歩ずつ向かって頂きたいと思っております。

木更津総合高等学校保護者会の皆様、多大な御協力を頂きまして、誠に有難う御座いました。私の中で一番印象に残ったものは、真心祭文化の部におけるバザーです。バザーのお手伝いをさせて頂くことは初めての事であり、非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。初めてのバザーではありましたが、大盛況で終わり手伝う身からしても非常に嬉しい気持ちでありました。バザーのみならず、木更津総合高等学校の各行事等を支えて下さった保護者会の皆様へ感謝御礼申し上げます。

最後に、真板竜太郎理事長をはじめとする木更津総合高等学校の教職員の皆様、約2000名の全校生徒の皆様、保護者会の皆様、木更津総合高等学校のみならず学校法人君津学園の益々の御発展を心よりお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

第19代生徒会 会長

鈴木 明輝

